



ゼロカーボンシティ 銚子

近年、台風や豪雨など地球温暖化が原因とみられる災害が多発・激甚化しているように、地球温暖化による気候変動は私たちの生活に深刻な影響を与えており、地球温暖化を食い止めることは喫緊の課題となっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命前からの平均気温上昇を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が広く共有され、この目標を達成するには「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

銚子市においても、自然豊かな環境を未来につなげるため、洋上風力発電などの再生可能エネルギーを推進し、市民や事業者との官民協働によるオール銚子の体制で2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、取り組むことを表明します。

令和3年2月16日

銚子市長 越川 信一